



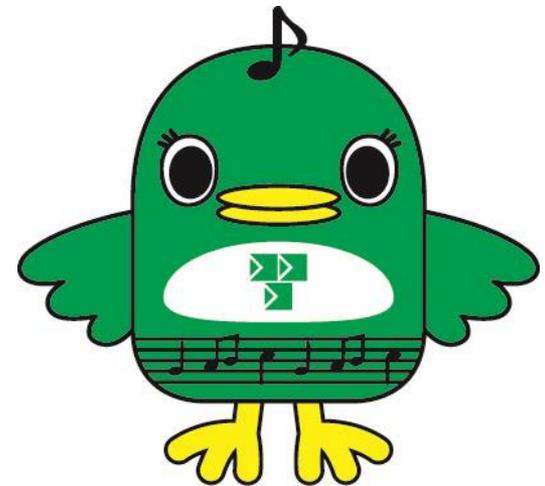
習志野市 子どもの生活に関する実態調査 について



平成30年3月19日開催

平成29年度第4回子ども・子育て会議資料

調査の概要



調査実施の背景

子どもの貧困の概況

平成28年国民生活基礎調査によると、平成27年時点の国のこども全体に占める等価可処分所得が一定基準（貧困線）に満たない子どもの割合（子どもの貧困率）は13.9%となっている（約7人に1人の割合）。

国の動向

平成26年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行、同年8月には「子どもの貧困対策に関する大綱」が定められている。

調査の概要①

調査実施の目的

一人ひとりの子どもが夢と希望を持ち、自分らしく社会の一員として自立できるための有効な支援を導くために、本市の子どもの生活状況等の実態を把握すると共に、生活困窮が子どもの健康や生活状況に与える影響や、またその要因等について調査・分析するため。

調査対象者及び調査期間

	子ども調査	保護者調査
調査対象	習志野市立学校及び 公立特別支援学校に通う、 小学5年生（1,458人）および 中学2年生（1,413人） 2,871人	子ども調査対象者の保護者 2,871人
調査期間	平成29年10月18日～11月14日	

調査の概要②

調査方法と回収状況

	子ども調査	保護者調査
調査方法	学校配布、学校回収 ※特別支援学校は学校配布、 郵送回収	学校配布、郵送回収
回収結果	回収数 2,767件 (回収率 96.4%) ※内訳 小学5年生：1,415人 (回収率 97.1%) 中学2年生：1,352人 (回収率 95.7%)	回収数 1,651件 (回収率 57.5%) ※内訳 小学5年生の保護者：886人 (回収率 60.8%) 中学2年生の保護者：765人 (回収率 54.1%)

調査の概要③

国による貧困の水準は、
右図の選択肢①②に該当する。



しかし

貧困の水準をやや上回って
いても、経済的困難を抱える
家庭があることを勘案。

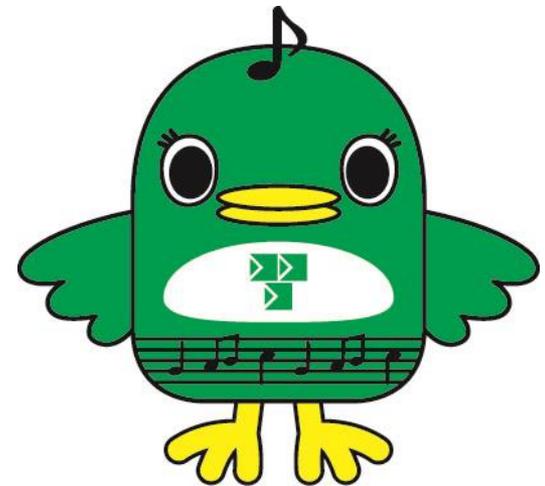
本調査分析では、選択肢
①～③に該当する世帯と
それ以外の世帯を分け、
分析する。

■保護者調査 世帯の可処分所得（問24）

世帯員 人数	可処分所得 (世帯員全員の所得の合計額から、「所得税」「住民税」 「社会保険料（「医療保険（短期掛金）」、 「年金保険（長期掛金）」、「介護保険」、「雇用保険」）、 「固定資産税」を除いた額)	
	1人	1. 60万円未満 2. 60万円～120万円未満 3. 120万円～180万円未満
2人	1. 85万円未満 2. 85万円～175万円未満 3. 175万円～260万円未満	4. 260万円～345万円未満 5. 345万円～430万円未満 6. 430万円以上
3人	1. 105万円未満 2. 105万円～210万円未満 3. 210万円～315万円未満	4. 315万円～420万円未満 5. 420万円～525万円未満 6. 525万円以上
4人	1. 120万円未満 2. 120万円～245万円未満 3. 245万円～365万円未満	4. 365万円～485万円未満 5. 485万円～605万円未満 6. 605万円以上
5人	1. 135万円未満 2. 135万円～275万円未満 3. 275万円～410万円未満	4. 410万円～545万円未満 5. 545万円～680万円未満 6. 680万円以上
6人	1. 150万円未満 2. 150万円～300万円未満 3. 300万円～450万円未満	4. 450万円～600万円未満 5. 600万円～750万円未満 6. 750万円以上
7人	1. 160万円未満 2. 160万円～325万円未満 3. 325万円～485万円未満	4. 485万円～645万円未満 5. 645万円～805万円未満 6. 805万円以上
8人	1. 175万円未満 2. 175万円～345万円未満 3. 345万円～520万円未満	4. 520万円～695万円未満 5. 695万円～870万円未満 6. 870万円以上
9人	1. 185万円未満 2. 185万円～365万円未満 3. 365万円～550万円未満	4. 550万円～735万円未満 5. 735万円～920万円未満 6. 920万円以上

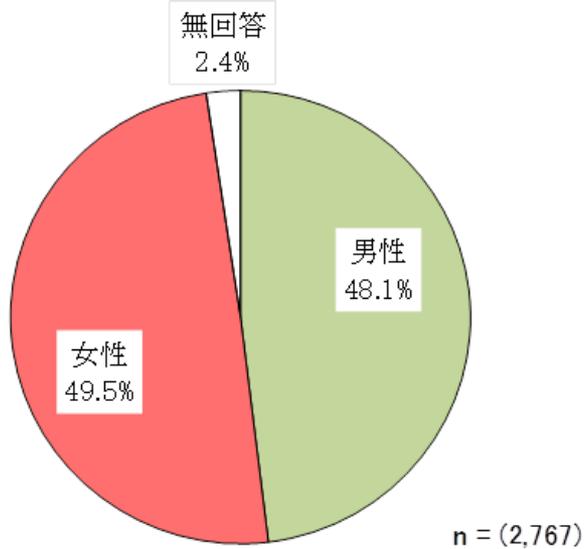
調査の結果①

～回答者の属性～

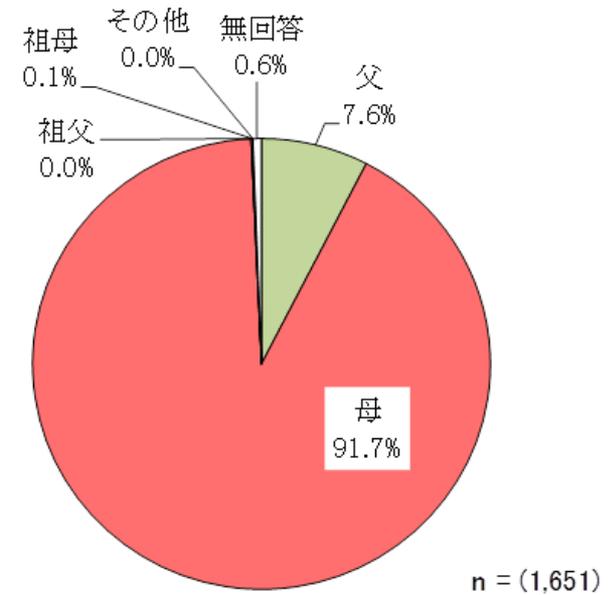


回答者の属性①

■子ども調査 ＜性別＞

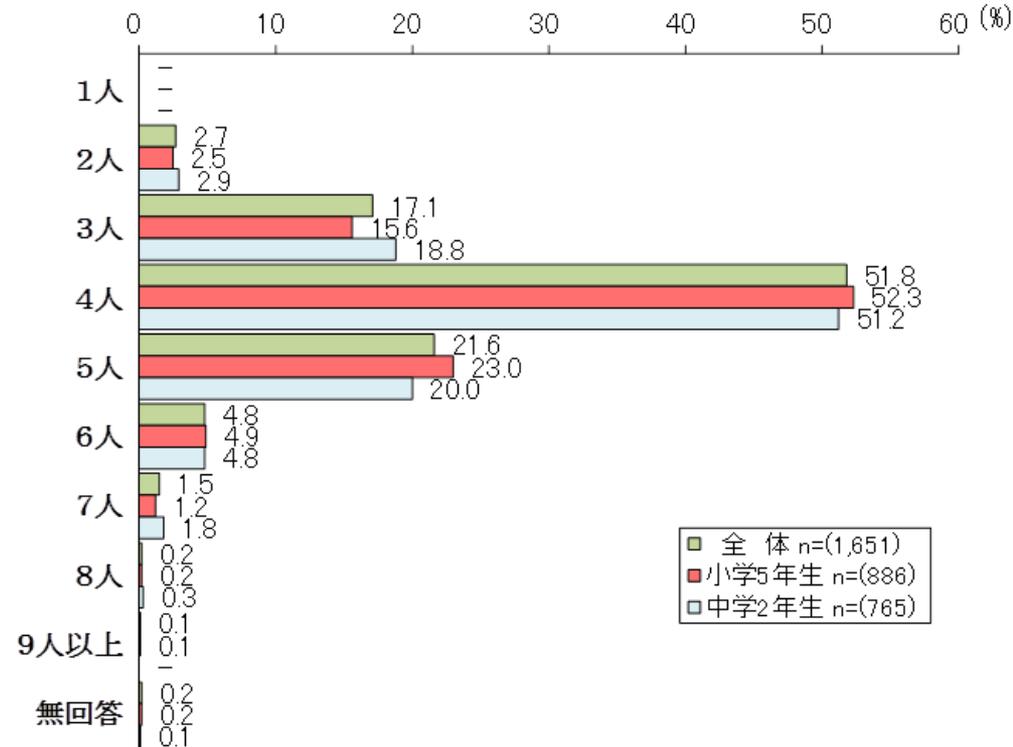


■保護者調査 ＜回答者＞



回答者の属性②

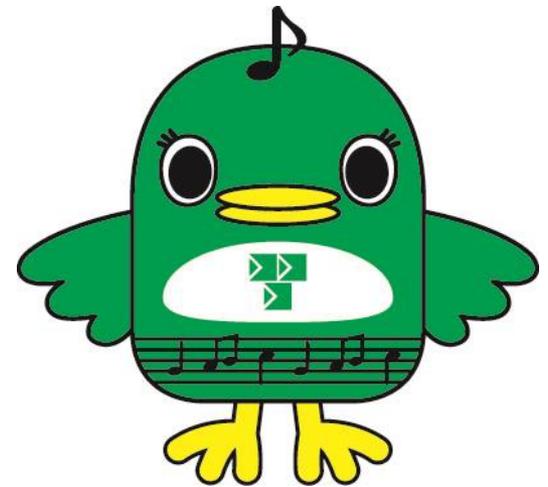
■保護者調査 〈世帯人数〉



世帯人数「4人」が最も多く、
次いで「5人」が多い。

調査の結果②

～健康～



自身の健康状態①

■子ども調査（単純集計）

	調査数	よい	どちらか といえば よい	普通	どちらか といえば よくない	よくない	無回答
全体	2,767人	770人	322人	1,355人	192人	76人	52人
		27.8%	11.6%	49.0%	6.9%	2.7%	1.9%
小学5年生	1,415人	431人	195人	654人	79人	27人	29人
		30.5%	13.8%	46.2%	5.6%	1.9%	2.0%
中学2年生	1,352人	339人	127人	701人	113人	49人	23人
		25.1%	9.4%	51.8%	8.4%	3.6%	1.7%

「普通」が最も高く、特に中学2年生では過半数である。また、「よい」＋「どちらかといえばよい」との回答は、小学5年生では約4割となっている。

自身の健康状態②

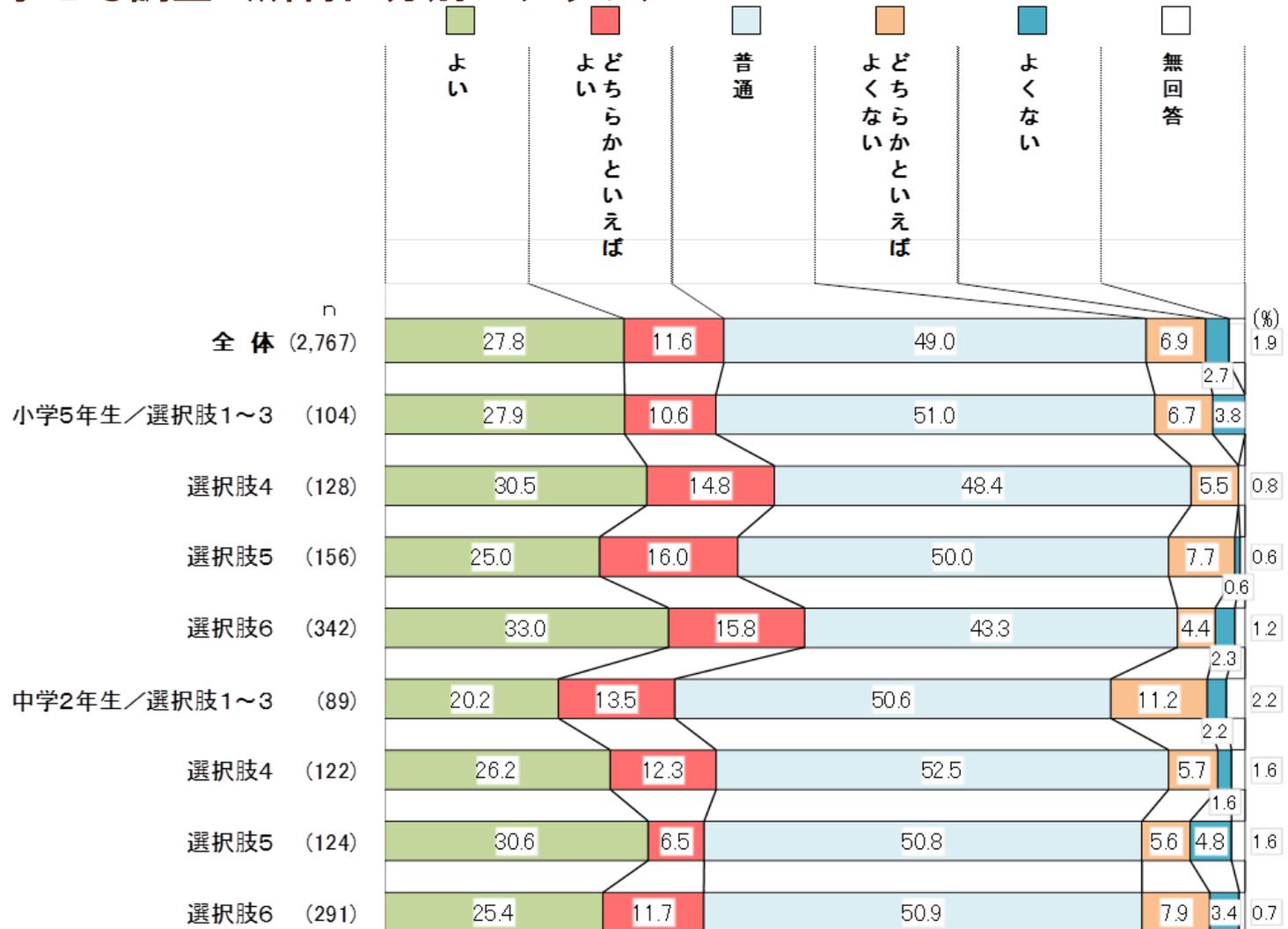
■子ども調査（所得区分別：表）

		調査数	よい	どちらか といえば よい	普通	どちらか といえば よくない	よくない	無回答
小学5 年生	選択肢 1～3	104人	29人 27.9%	11人 10.6%	53人 51%	7人 6.7%	4人 3.8%	- -
	選択肢4	128人	39人 30.5%	19人 14.8%	62人 48.4%	7人 5.5%	- -	1人 0.8%
	選択肢5	156人	39人 25%	25人 16%	78人 50%	12人 7.7%	1人 0.6%	1人 0.6%
	選択肢6	342人	113人 33%	54人 15.8%	148人 43.3%	15人 4.4%	8人 2.3%	4人 1.2%
中学2 年生	選択肢 1～3	89人	18人 20.2%	12人 13.5%	45人 50.6%	10人 11.2%	2人 2.2%	2人 2.2%
	選択肢4	122人	32人 26.2%	15人 12.3%	64人 52.5%	7人 5.7%	2人 1.6%	2人 1.6%
	選択肢5	124人	38人 30.6%	8人 6.5%	63人 50.8%	7人 5.6%	6人 4.8%	2人 1.6%
	選択肢6	291人	74人 25.4%	34人 11.7%	148人 50.9%	23人 7.9%	10人 3.4%	2人 0.7%

選択肢1～3の世帯は、「よい」＋「どちらかといえ
ばよい」が低い。

自身の健康状態③

■子ども調査（所得区分別：グラフ）



自身の健康状態④

■保護者調査（単純集計）

	調査数	よい	どちらか といえば よい	普通	どちらか といえば よくない	よくない	無回答
全体	1,651人	404人	107人	909人	161人	58人	12人
		24.5%	6.5%	55.1%	9.8%	3.5%	0.7%
小学5年生	886人	226人	56人	485人	86人	28人	5人
		25.5%	6.3%	54.7%	9.7%	3.2%	0.6%
中学2年生	765人	178人	51人	424人	75人	30人	7人
		23.3%	6.7%	55.4%	9.8%	3.9%	0.9%

保護者でも「普通」が最も高く、過半数である。

朝食を食べる頻度①

■子ども調査（単純集計）

	調査数	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	その日による	無回答
全体	2,767人	2,355人	129人	38人	55人	94人	96人
		85.1%	4.7%	1.4%	2.0%	3.4%	3.5%
小学5年生	1,415人	1,236人	58人	23人	19人	49人	30人
		87.3%	4.1%	1.6%	1.3%	3.5%	2.1%
中学2年生	1,352人	1,119人	71人	15人	36人	45人	66人
		82.8%	5.3%	1.1%	2.7%	3.3%	4.9%

「ほとんど毎日食べる」が最も高く、約8割。

朝食を食べる頻度②

■子ども調査（所得区分別）

		調査数	ほとんど毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	その日による	無回答
小学5年生	選択肢1～3	104人	86人	3人	3人	3人	9人	-
			82.7%	2.9%	2.9%	2.9%	8.7%	-
	選択肢4	128人	117人	4人	1人	1人	1人	4人
			91.4%	3.1%	0.8%	0.8%	0.8%	3.1%
	選択肢5	156人	144人	3人	2人	2人	3人	2人
			92.3%	1.9%	1.3%	1.3%	1.9%	1.3%
選択肢6	342人	310人	12人	3人	2人	9人	6人	
		90.6%	3.5%	0.9%	0.6%	2.6%	1.8%	
中学2年生	選択肢1～3	89人	78人	3人	-	2人	4人	2人
			87.6%	3.4%	-	2.2%	4.5%	2.2%
	選択肢4	122人	102人	5人	2人	4人	4人	5人
			83.6%	4.1%	1.6%	3.3%	3.3%	4.1%
	選択肢5	124人	105人	5人	1人	1人	3人	9人
			84.7%	4%	0.8%	0.8%	2.4%	7.3%
選択肢6	291人	250人	16人	1人	4人	9人	11人	
		85.9%	5.5%	0.3%	1.4%	3.1%	3.8%	

選択肢1～3の世帯の小学5年生は、「ほとんど毎日食べる」としている傾向が低く、小学5年生・中学2年生とも「その日による」としている傾向が高い。

規則正しい生活をしているか①

■子ども調査（単純集計）

	調査数	必ずしている	たまにしている	まったくしていない	無回答
全体	2,767人	1,229人	1,288人	199人	51人
		44.4%	46.5%	7.2%	1.8%
小学5年生	1,415人	748人	574人	64人	29人
		52.9%	40.6%	4.5%	2.0%
中学2年生	1,352人	481人	714人	135人	22人
		35.6%	52.8%	10.0%	1.6%

約9割のこどもが、規則正しい生活を、「必ずしている」「たまにしている」と答えている。

規則正しい生活をしているか②

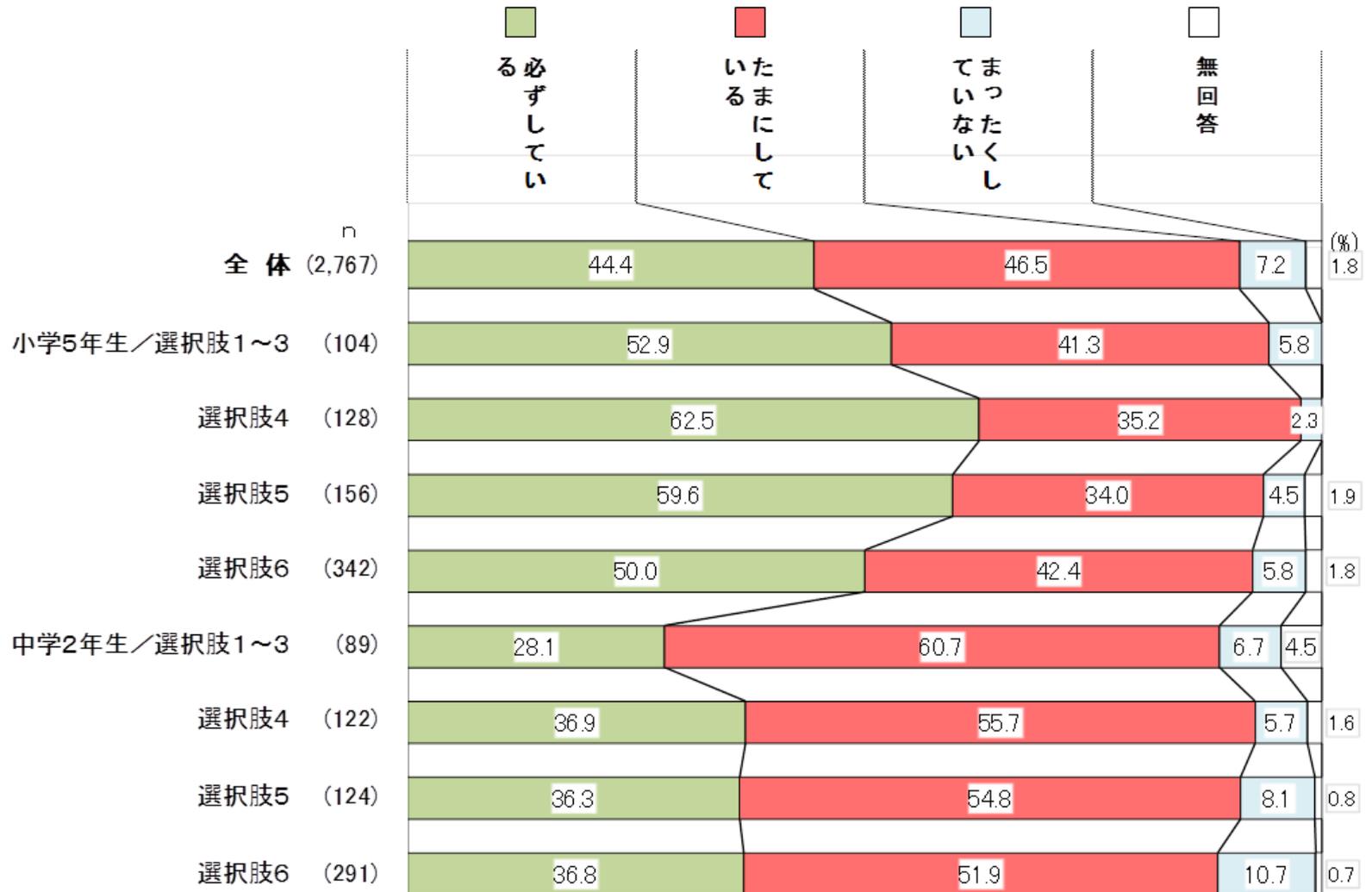
■子ども調査（所得区分別：表）

		調査数	必ずしている	たまにしている	まったくしていない	無回答
小学5年生	選択肢 1～3	104人	55人	43人	6人	-
			52.9%	41.3%	5.8%	-
	選択肢 4	128人	80人	45人	3人	-
			62.5%	35.2%	2.3%	-
	選択肢 5	156人	93人	53人	7人	3人
			59.6%	34%	4.5%	1.9%
選択肢 6	342人	171人	145人	20人	6人	
		50%	42.4%	5.8%	1.8%	
中学2年生	選択肢 1～3	89人	25人	54人	6人	4人
			28.1%	60.7%	6.7%	4.5%
	選択肢 4	122人	45人	68人	7人	2人
			36.9%	55.7%	5.7%	1.6%
	選択肢 5	124人	45人	68人	10人	1人
			36.3%	54.8%	8.1%	0.8%
選択肢 6	291人	107人	151人	31人	2人	
		36.8%	51.9%	10.7%	0.7%	

選択肢 1～3 の中学 2 年生の世帯は、規則正しい生活を「必ずしている」傾向が低い。

規則正しい生活をしているか③

■子ども調査（所得区分別：グラフ）



規則正しい生活をしているか④

■保護者調査（単純集計）

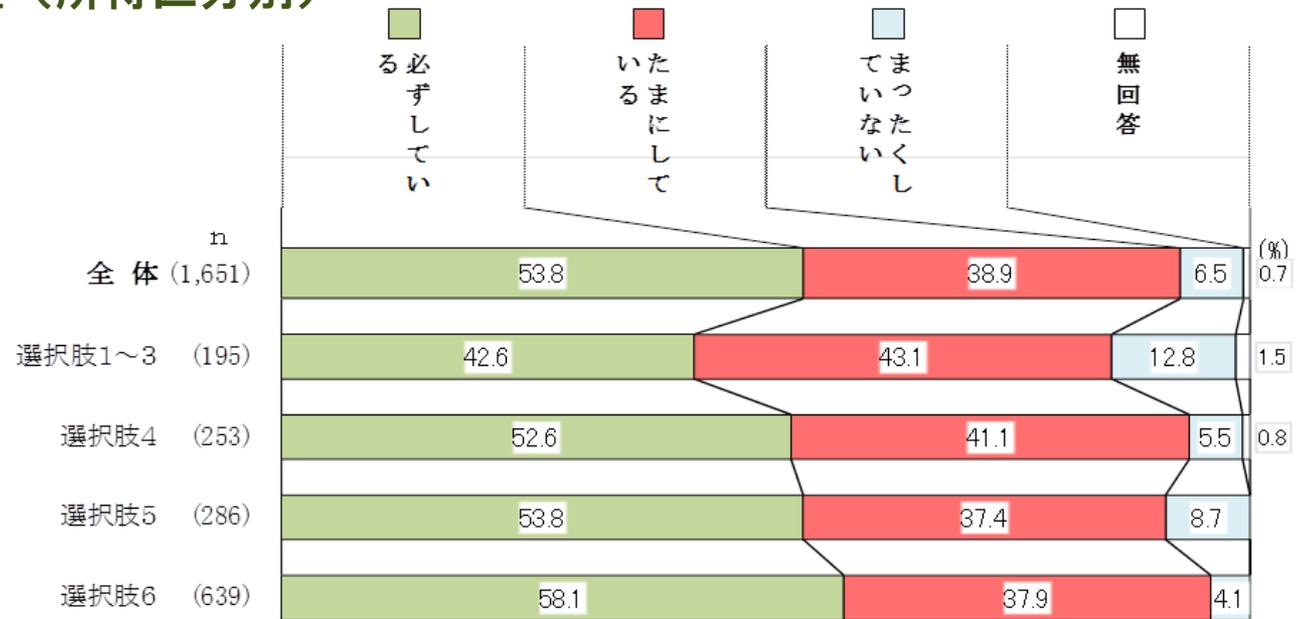
	調査数	必ずしている	たまにしている	まったくしていない	無回答
全体	1,651人	888人	643人	108人	12人
		53.8%	38.9%	6.5%	0.7%
小学5年生	886人	492人	340人	51人	3人
		55.5%	38.4%	5.8%	0.3%
中学2年生	765人	396人	303人	57人	9人
		51.8%	39.6%	7.5%	1.2%

子どもと同様に、約9割の保護者が、規則正しい生活を、

「必ずしている」「たまにしている」と回答。

規則正しい生活をしているか⑤

■保護者調査（所得区分別）



選択肢1～3の世帯の保護者は、規則正しい生活を「必ずしている」とする傾向が低い。

過去一年間の歯科医への受診の有無①

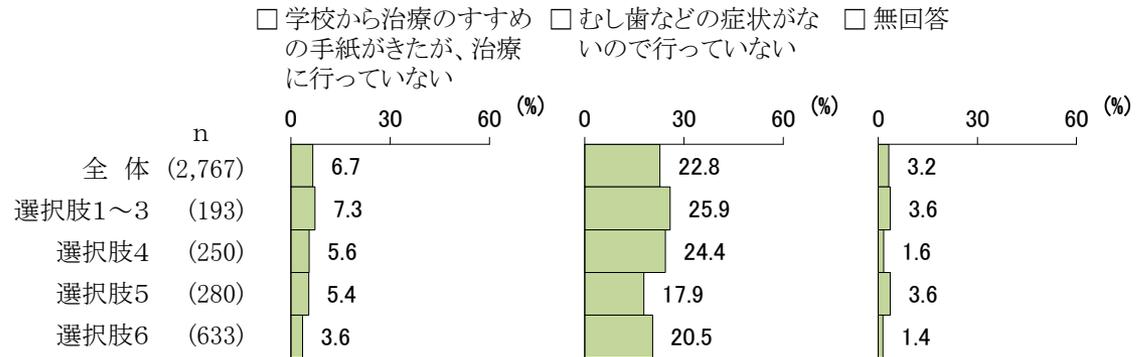
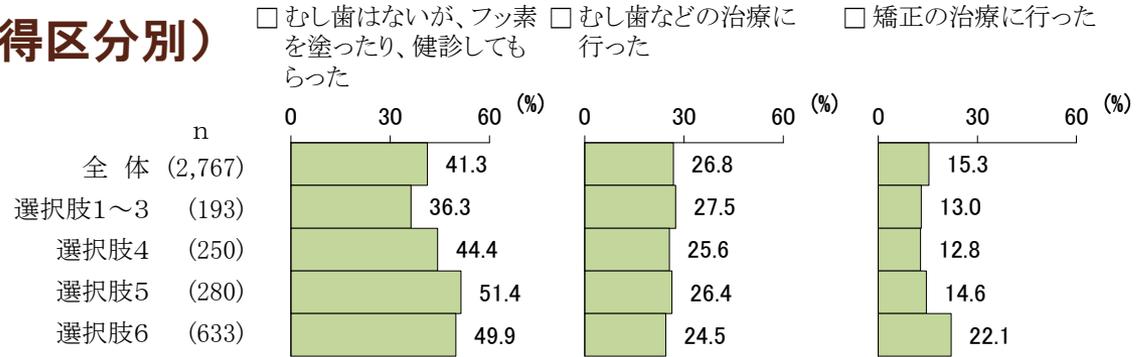
■子ども調査（単純集計）

	調査数	むし歯などの治療に行った	むし歯はないが、フッ素を塗ったり、健診してもらった	矯正の治療に行った	学校から治療のすすめの紙がきたが、治療に行っていない	むし歯などの症状がないので行っていない	無回答
全体	2,767人	741人	1,142人	424人	185人	632人	88人
		26.8%	41.3%	15.3%	6.7%	22.8%	3.2%
小学5年生	1,415人	423人	674人	240人	56人	262人	47人
		29.9%	47.6%	17.0%	4.0%	18.5%	3.3%
中学2年生	1,352人	318人	468人	184人	129人	370人	41人
		23.5%	34.6%	13.6%	9.5%	27.4%	3.0%

小学5年生・中学2年生とも「むし歯はないが、フッ素を塗ったり、健診してもらった」が最も高い。次いで、小学5年生では「むし歯などの治療に行った」、中学2年生では「むし歯などの症状がないので行っていない」となっている。

過去一年間の歯科医への受診の有無②

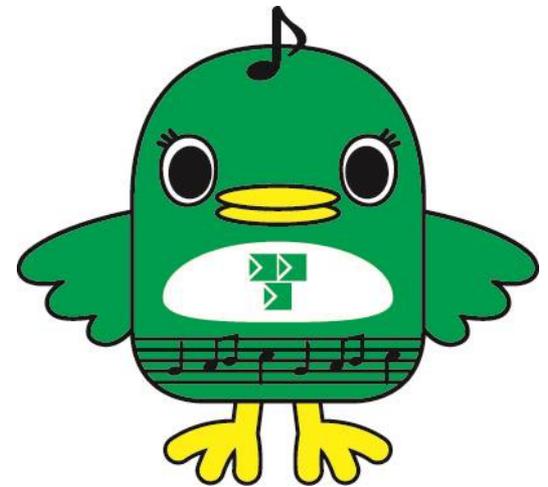
■子ども調査（所得区分別）



選択肢1～3の世帯で「むし歯はないが、フッ素を塗ったり検診してもらった」とした傾向は、低い。

調査の結果③

～学習～



学校の授業の理解度①

■子ども調査（単純集計）

	調査数	よくわかる	大体わかる	半分くらいわかる	わからないことが多い	ほとんどわからない	無回答
全体	2,767人	729人	1,275人	506人	169人	61人	27人
		26.3%	46.1%	18.3%	6.1%	2.2%	1.0%
小学5年生	1,415人	503人	629人	199人	53人	19人	12人
		35.5%	44.5%	14.1%	3.7%	1.3%	0.8%
中学2年生	1,352人	226人	646人	307人	116人	42人	15人
		16.7%	47.8%	22.7%	8.6%	3.1%	1.1%

小学5年生・中学2年生とも「大体わかる」が4割台で最も高くなっており、次いで小学5年生は「よくわかる」が3割台、中学2年生は「半分くらいわかる」が2割台となっている。

学校の授業の理解度②

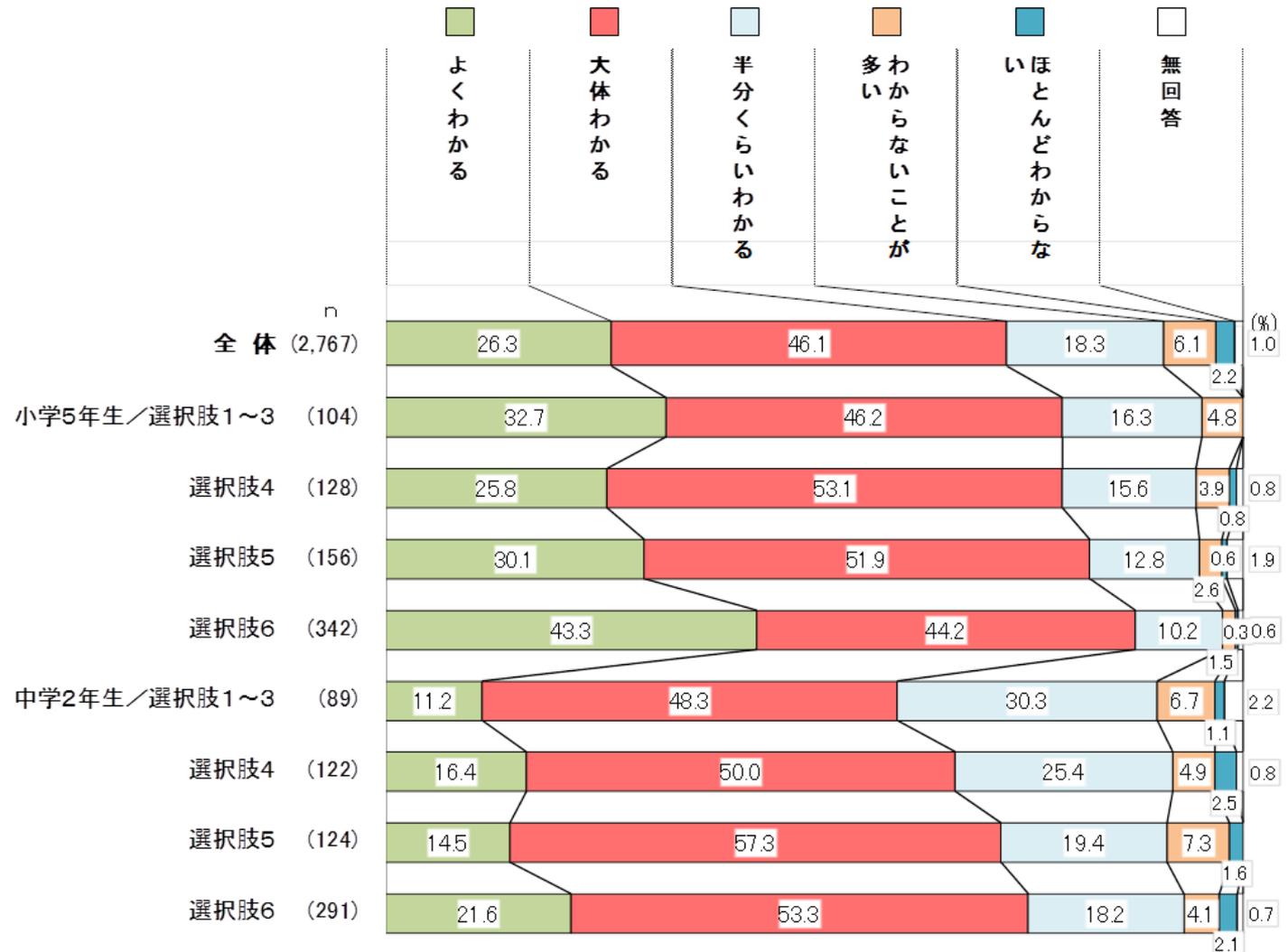
■子ども調査（所得区分別：表）

		調査数	よくわかる	大体わかる	半分くらいわかる	わからないことが多い	ほとんどわからない	無回答
小学5年生	選択肢1～3	104人	34人	48人	17人	5人	-	-
			32.7%	46.2%	16.3%	4.8%	-	-
	選択肢4	128人	33人	68人	20人	5人	1人	1人
			25.8%	53.1%	15.6%	3.9%	0.8%	0.8%
	選択肢5	156人	47人	81人	20人	4人	1人	3人
			30.1%	51.9%	12.8%	2.6%	0.6%	1.9%
選択肢6	342人	148人	151人	35人	5人	1人	2人	
		43.3%	44.2%	10.2%	1.5%	0.3%	0.6%	
中学2年生	選択肢1～3	89人	10人	43人	27人	6人	1人	2人
			11.2%	48.3%	30.3%	6.7%	1.1%	2.2%
	選択肢4	122人	20人	61人	31人	6人	3人	1人
			16.4%	50%	25.4%	4.9%	2.5%	0.8%
	選択肢5	124人	18人	71人	24人	9人	2人	-
			14.5%	57.3%	19.4%	7.3%	1.6%	-
選択肢6	291人	63人	155人	53人	12人	6人	2人	
		21.6%	53.3%	18.2%	4.1%	2.1%	0.7%	

「よくわかる」＋「大体わかる」としている傾向は、
選択肢1～3の世帯で低い。

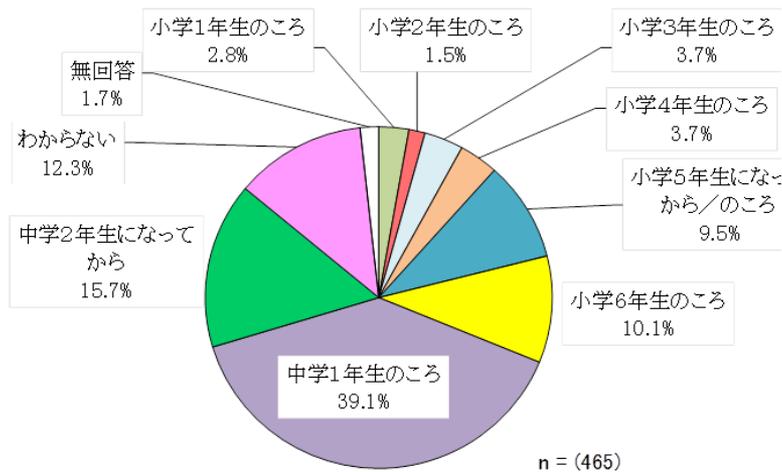
学校の授業の理解度③

■子ども調査（所得区分別：グラフ）

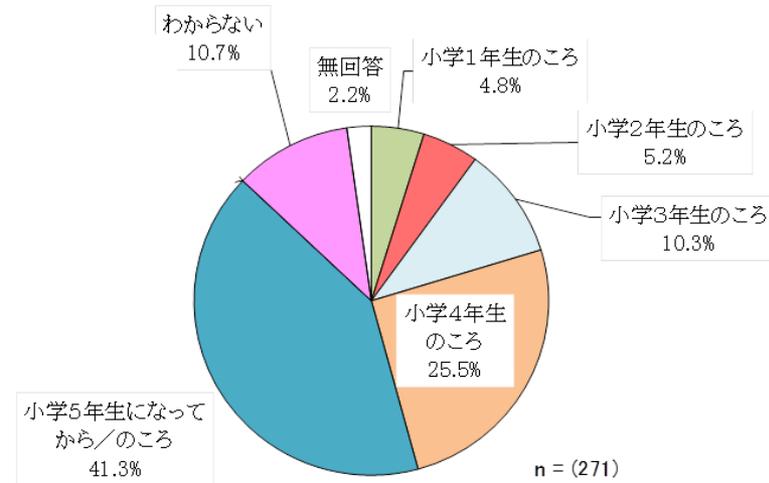


授業が分からなくなった時期①

■子ども調査（単純集計）



中学2年生



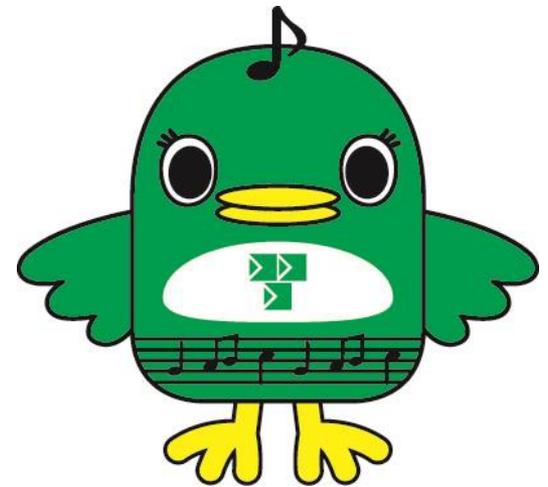
小学5年生

中学2年生は「中学1年生のころ」が約4割で最も高い。

「小学5年生になってから」とした回答が小学5年生の約4割で最も高く、また、中学2年生でも約1割がそう回答。

調査の結果④

～将来の夢や
自己肯定感～



将来の夢や目標の有無①

■子ども調査（単純集計）

	調査数	持っている	どちらかという と持っている	どちらかという と持っていない	持っていない	無回答
全体	2,767人	1,541人	543人	356人	285人	42人
		55.7%	19.6%	12.9%	10.3%	1.5%
小学5年生	1,415人	961人	236人	113人	83人	22人
		67.9%	16.7%	8.0%	5.9%	1.6%
中学2年生	1,352人	580人	307人	243人	202人	20人
		42.9%	22.7%	18.0%	14.9%	1.5%

小学5年生・中学2年生とも「持っている」が最も高くなっており、小学5年生で約7割、中学2年生で約4割となっている。

将来の夢や目標の有無②

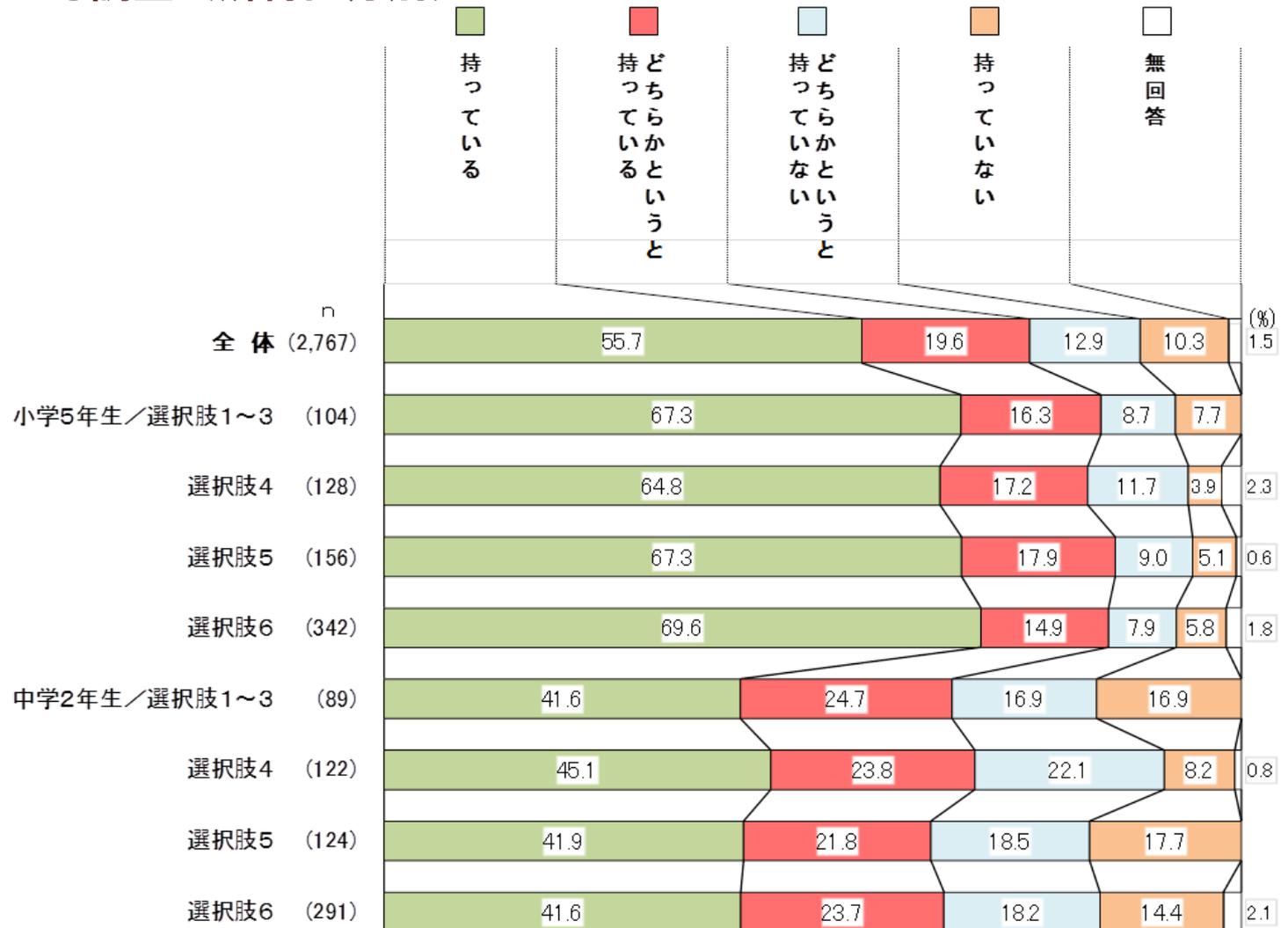
■子ども調査（所得区分別）

		調査数	持っている	どちらかという 持っている	どちらかという 持っていない	持っていない	無回答
小学5年生	選択肢1～3	104人	70人	17人	9人	8人	-
			67.3%	16.3%	8.7%	7.7%	-
	選択肢4	128人	83人	22人	15人	5人	3人
			64.8%	17.2%	11.7%	3.9%	2.3%
選択肢5	156人	105人	28人	14人	8人	1人	
		67.3%	17.9%	9%	5.1%	0.6%	
選択肢6	342人	238人	51人	27人	20人	6人	
		69.6%	14.9%	7.9%	5.8%	1.8%	
中学2年生	選択肢1～3	89人	37人	22人	15人	15人	-
			41.6%	24.7%	16.9%	16.9%	-
	選択肢4	122人	55人	29人	27人	10人	1人
			45.1%	23.8%	22.1%	8.2%	0.8%
選択肢5	124人	52人	27人	23人	22人	-	
		41.9%	21.8%	18.5%	17.7%	-	
選択肢6	291人	121人	69人	53人	42人	6人	
		41.6%	23.7%	18.2%	14.4%	2.1%	

「持っている」と答えている割合に、所得区分による大きな差異はない。

将来の夢や目標の有無③

■子ども調査（所得区分別）



最後までやり遂げてうれしかった 経験の有無①

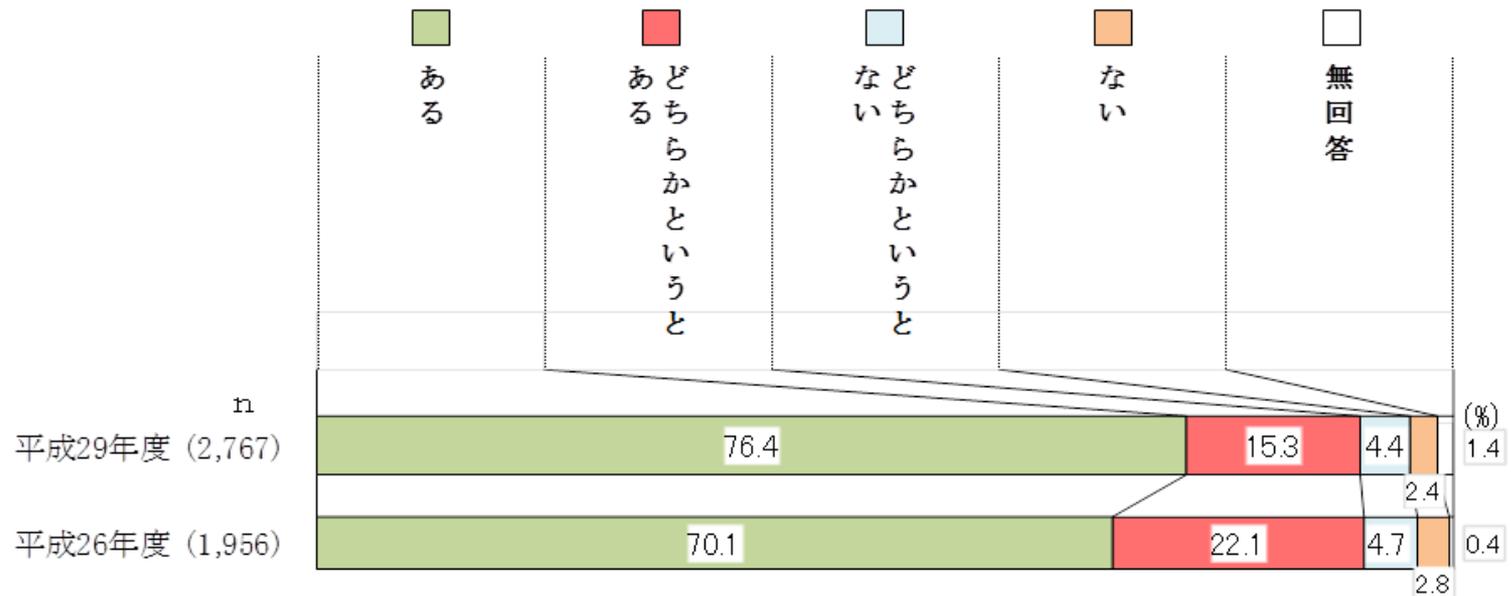
■子ども調査（単純集計）

	調査数	ある	どちらかという とある	どちらかという とない	ない	無回答
全 体	2,767人	2,115人	424人	122人	66人	40人
		76.4%	15.3%	4.4%	2.4%	1.4%
小学5年生	1,415人	1,108人	209人	48人	29人	21人
		78.3%	14.8%	3.4%	2.0%	1.5%
中学2年生	1,352人	1,007人	215人	74人	37人	19人
		74.5%	15.9%	5.5%	2.7%	1.4%

小学5年生・中学2年生とも、
「持っている」が約7割で
最も高くなっている。

最後までやり遂げてうれしかった 経験の有無②

■子ども調査（H26満足度調査との比較）



「ある」＋「どちらかというところある」の回答は、変化
ないが、平成26年度と比べ、
「ある」と答える数が増加している。

自分自身の良いところの有無

■子ども調査（単純集計）

	調査数	あると思う	どちらかといえばあると思う	どちらかといえばあると思わない	あると思わない	無回答
全 体	2,767人	1,021人	1,044人	382人	260人	60人
		36.9%	37.7%	13.8%	9.4%	2.2%
小学5年生	1,415人	584人	534人	149人	119人	29人
		41.3%	37.7%	10.5%	8.4%	2.0%
中学2年生	1,352人	437人	510人	233人	141人	31人
		32.3%	37.7%	17.2%	10.4%	2.3%

学年別で見ると、小学5年生では「あると思う」、中学2年生では「どちらかといえばあると思う」が約4割で最も高くなっている。

自身の幸福度①

■子ども調査（単純集計）

	調査数	とても幸せだと思う	幸せだと思う	あまり幸せだと思わない	幸せだと思わない	わからない	無回答
全 体	2,767人	1,110人	1,045人	194人	97人	273人	48人
		40.1%	37.8%	7.0%	3.5%	9.9%	1.7%
小学5年生	1,415人	642人	490人	107人	44人	111人	21人
		45.4%	34.6%	7.6%	3.1%	7.8%	1.5%
中学2年生	1,352人	468人	555人	87人	53人	162人	27人
		34.6%	41.1%	6.4%	3.9%	12.0%	2.0%

小学5年生で約8割、中学2年生で約7割が「とても幸せだと思う」「幸せだと思う」と答えているものの、学年が上がると低くなる傾向がある。

自身の幸福度②

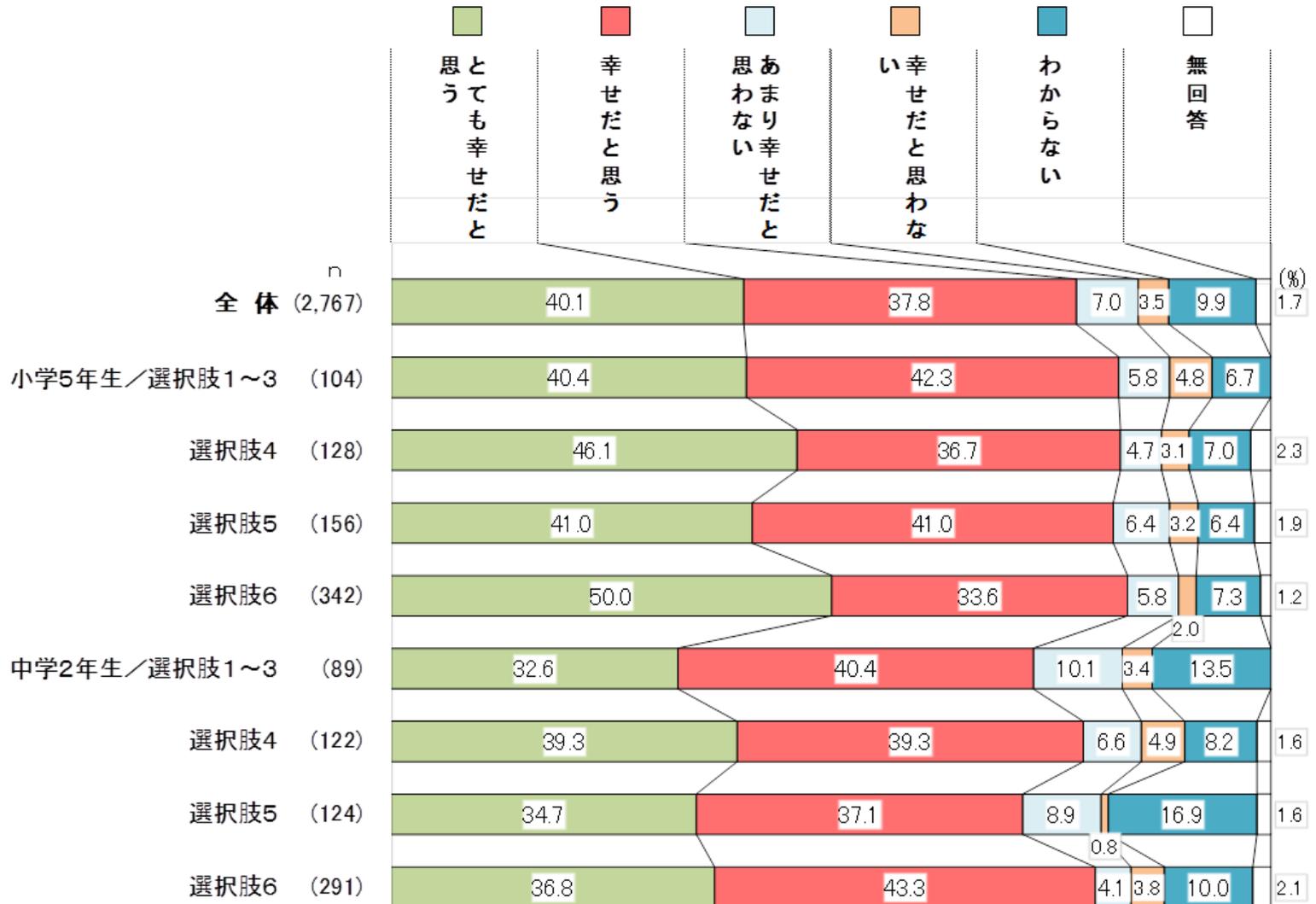
■子ども調査（所得区分別）

		調査数	とても幸せだと思 う	幸せだと思 う	あまり幸 せだと思 わない	幸せだと思 わない	わからな い	無回答
小学5 年生	選択肢 1～3	104人	42人 40.4%	44人 42.3%	6人 5.8%	5人 4.8%	7人 6.7%	- -
	選択肢4	128人	59人 46.1%	47人 36.7%	6人 4.7%	4人 3.1%	9人 7%	3人 2.3%
	選択肢5	156人	64人 41%	64人 41%	10人 6.4%	5人 3.2%	10人 6.4%	3人 1.9%
	選択肢6	342人	171人 50%	115人 33.6%	20人 5.8%	7人 2%	25人 7.3%	4人 1.2%
中学2 年生	選択肢 1～3	89人	29人 32.6%	36人 40.4%	9人 10.1%	3人 3.4%	12人 13.5%	- -
	選択肢4	122人	48人 39.3%	48人 39.3%	8人 6.6%	6人 4.9%	10人 8.2%	2人 1.6%
	選択肢5	124人	43人 34.7%	46人 37.1%	11人 8.9%	1人 0.8%	21人 16.9%	2人 1.6%
	選択肢6	291人	107人 36.8%	126人 43.3%	12人 4.1%	11人 3.8%	29人 10%	6人 2.1%

「とても幸せだと思う」「幸せだと思う」と答えている割合に、所得区分による大きな差異はない。

自身の幸福度③

■子ども調査（所得区分別）



自身の幸福度④

■保護者調査（単純集計）

	調査数	とても幸せだと思う	幸せだと思う	あまり幸せだと思わない	幸せだと思わない	わからない	無回答
全体	1,651人	452人	940人	85人	19人	141人	14人
		27.4%	56.9%	5.1%	1.2%	8.5%	0.8%
小学5年生	886人	264人	494人	41人	7人	74人	6人
		29.8%	55.8%	4.6%	0.8%	8.4%	0.7%
中学2年生	765人	188人	446人	44人	12人	67人	8人
		24.6%	58.3%	5.8%	1.6%	8.8%	1.0%

学年に関わらず、約8割が「とても幸せだと思う」「幸せだと思う」と答えている。

自身の幸福度⑤

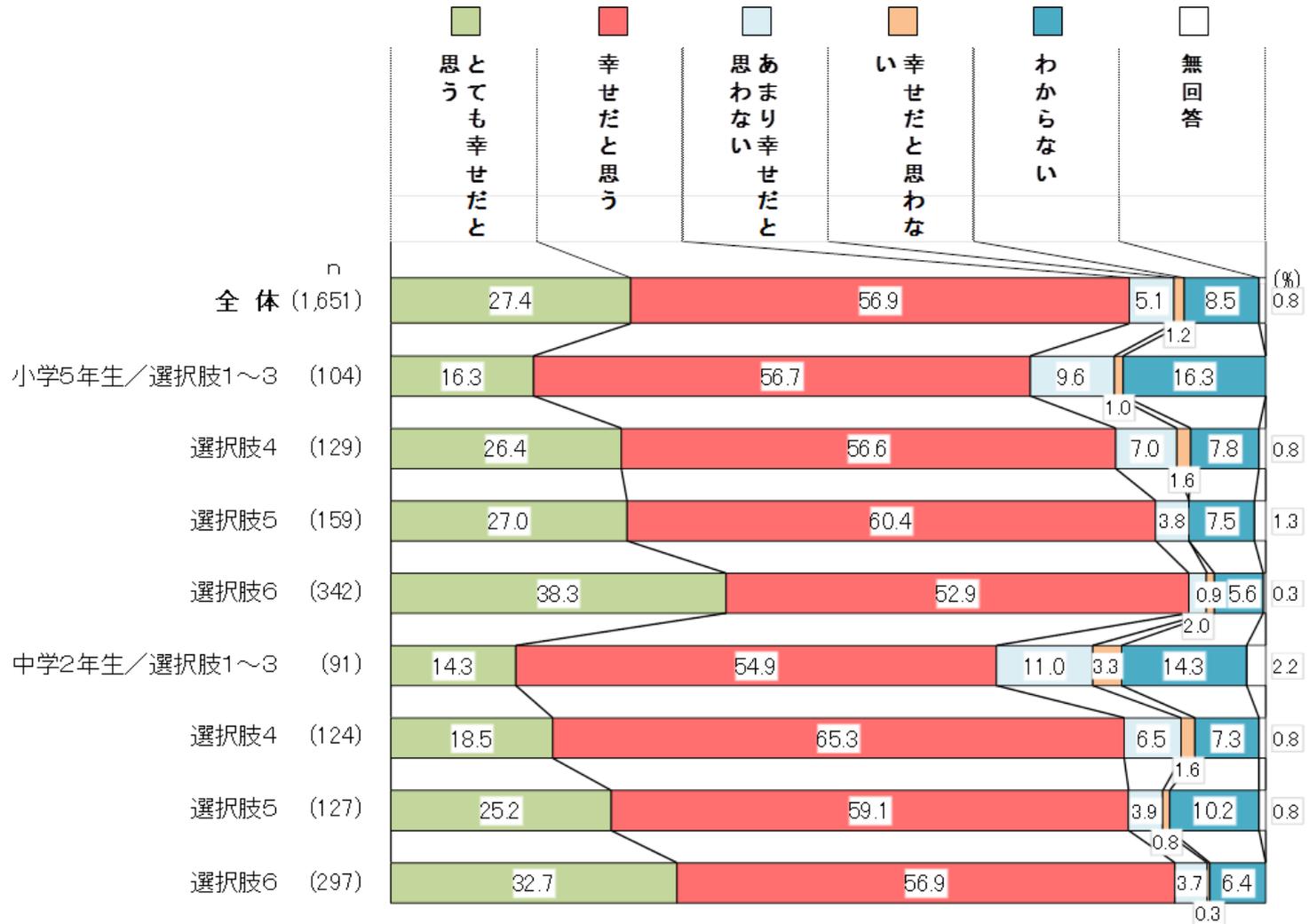
■保護者調査（所得区分別）

		調査数	とても幸せだと思 う	幸せだと思 う	あまり幸 せだと思 わない	幸せだと思 わない	わからな い	無回答
小学5 年生	選択肢 1～3	104人	17人 16.3%	59人 56.7%	10人 9.6%	1人 1%	17人 16.3%	- -
	選択肢 4	129人	34人 26.4%	73人 56.6%	9人 7%	2人 1.6%	10人 7.8%	1人 0.8%
	選択肢 5	159人	43人 27%	96人 60.4%	6人 3.8%	- -	12人 7.5%	2人 1.3%
	選択肢 6	342人	131人 38.3%	181人 52.9%	7人 2%	3人 0.9%	19人 5.6%	1人 0.3%
中学2 年生	選択肢 1～3	91人	13人 14.3%	50人 54.9%	10人 11%	3人 3.3%	13人 14.3%	2人 2.2%
	選択肢 4	124人	23人 18.5%	81人 65.3%	8人 6.5%	2人 1.6%	9人 7.3%	1人 0.8%
	選択肢 5	127人	32人 25.2%	75人 59.1%	5人 3.9%	1人 0.8%	13人 10.2%	1人 0.8%
	選択肢 6	297人	97人 32.7%	169人 56.9%	11人 3.7%	1人 0.3%	19人 6.4%	- -

選択肢 1～3 の世帯は、「とても幸せだと思う」
「幸せだと思う」としている傾向が低い。

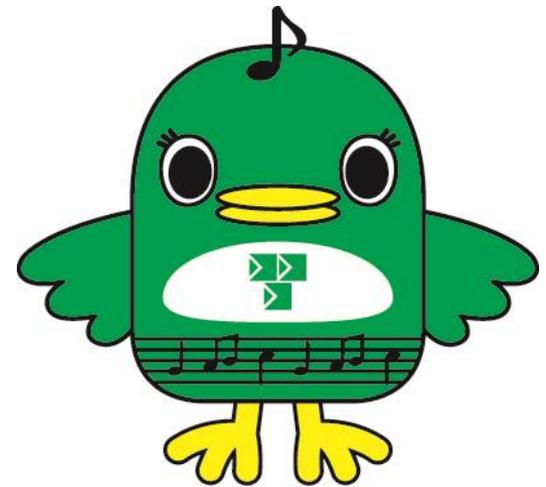
自身の幸福度⑥

■保護者調査（所得区分別）



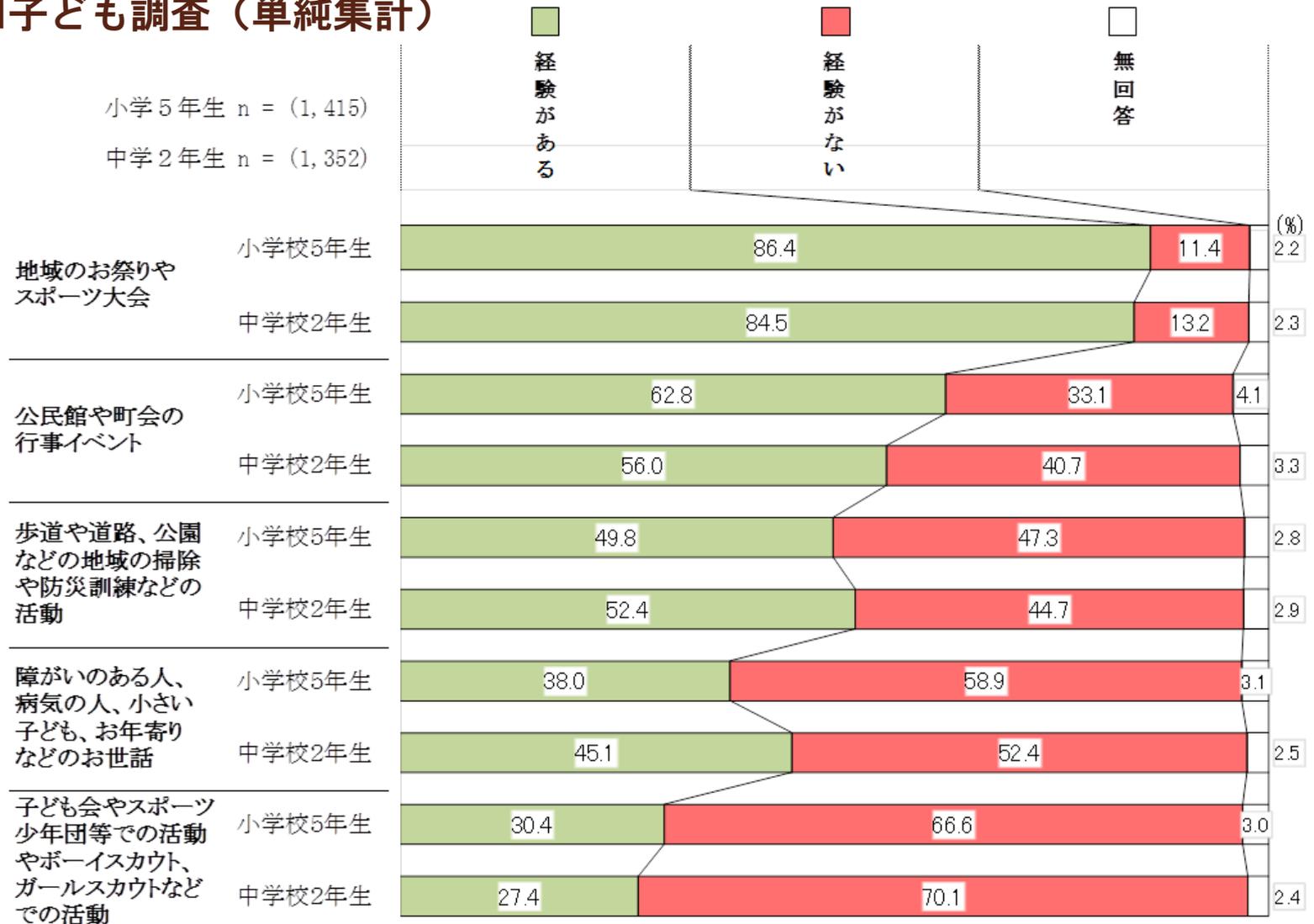
調査の結果⑤

～地域活動～



地域での活動経験

■子ども調査（単純集計）



地域活動の意向

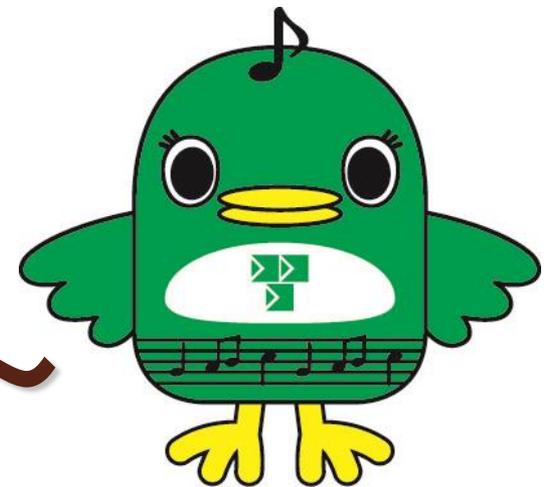
■子ども調査（所得区分別）

		歩道や道路、公園などの地域の掃除や 防災訓練などの活動				障がいのある人、病気の人、小さい子 ども、お年寄りなどのお世話			
		調査数	今後経験 してみたい	今後経験 してみたい と思わ ない	無回答	調査数	今後経験 してみたい	今後経験 してみたい と思わ ない	無回答
小学5 年生	選択肢 1～3	47人	33人 70.2%	14人 29.8%	-	53人	35人 66%	15人 28.3%	3人 5.7%
	選択肢4	66人	44人 66.7%	22人 33.3%	-	77人	46人 59.7%	30人 39%	1人 1.3%
	選択肢5	69人	42人 60.9%	26人 37.7%	1人 1.4%	93人	58人 62.4%	35人 37.6%	-
	選択肢6	150人	78人 52%	67人 44.7%	5人 3.3%	198人	114人 57.6%	80人 40.4%	4人 2%
中学2 年生	選択肢 1～3	46人	21人 45.7%	24人 52.2%	1人 2.2%	33人	17人 51.5%	15人 45.5%	1人 3%
	選択肢4	45人	15人 33.3%	28人 62.2%	2人 4.4%	66人	34人 51.5%	31人 47%	1人 1.5%
	選択肢5	54人	15人 27.8%	39人 72.2%	-	73人	29人 39.7%	41人 56.2%	3人 4.1%
	選択肢6	126人	37人 29.4%	88人 69.8%	1人 0.8%	159人	59人 37.1%	98人 61.6%	2人 1.3%

選択肢1～3の世帯で、「今後経験してみたい」の傾向が高い。

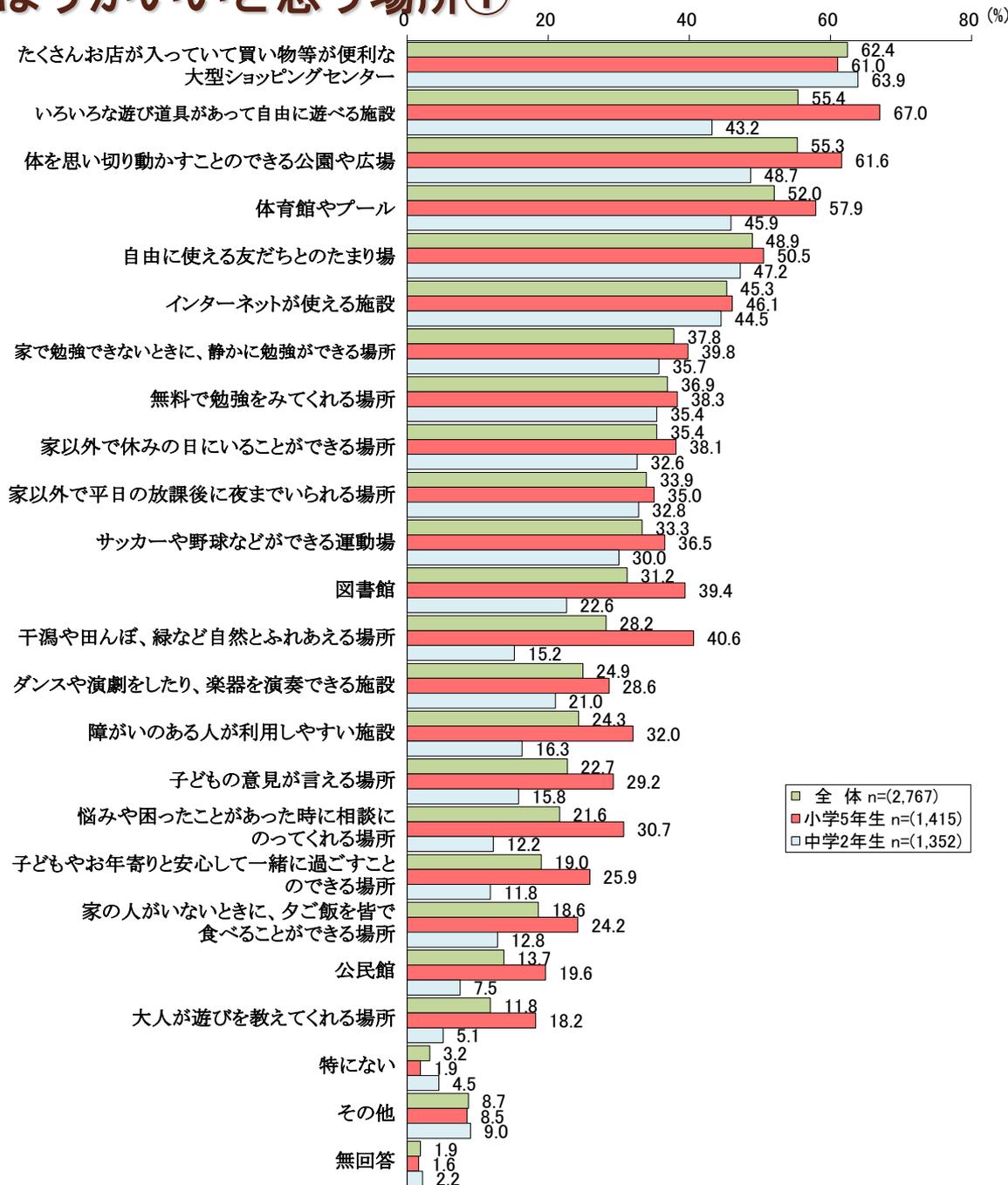
調査の結果⑥

～希望する
支援・施設等～



市内にあったほうがいいと思う場所①

子ども調査 (単純集計)

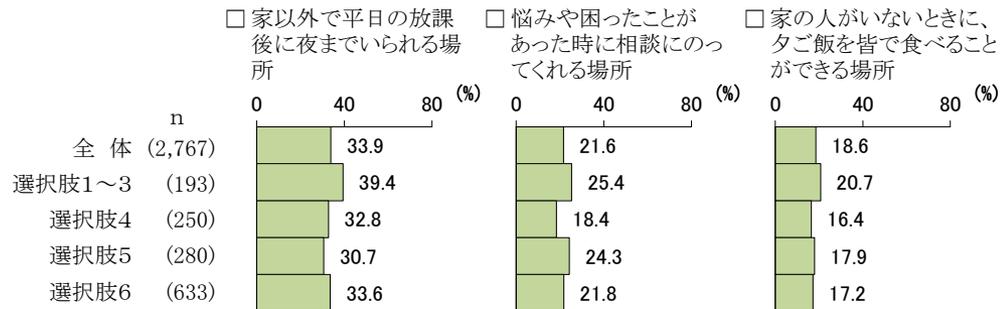
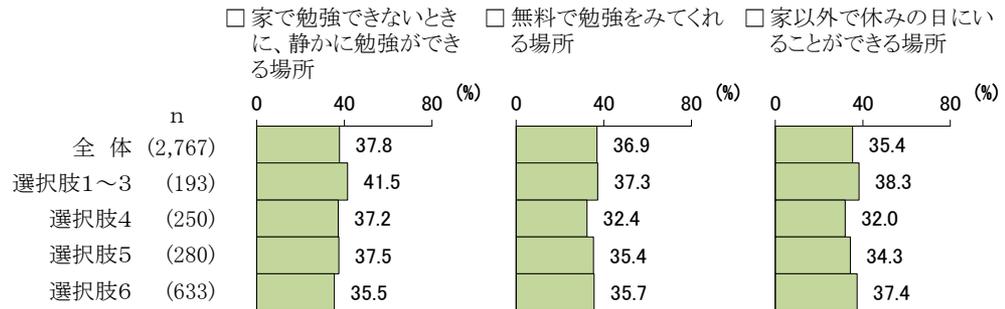
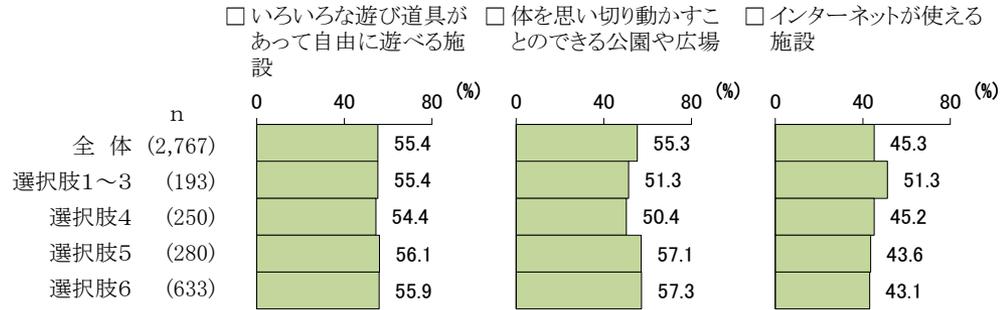


市内にあったほうがいいと思う場所②

■子ども調査 (所得区分別) ＜抜粋＞

選択肢1～3の世帯は、「家で勉強できないときに、静かに勉強ができる場所」

「家以外で平日の放課後に夜までいられる場所」を希望する傾向が高い。



希望する支援策

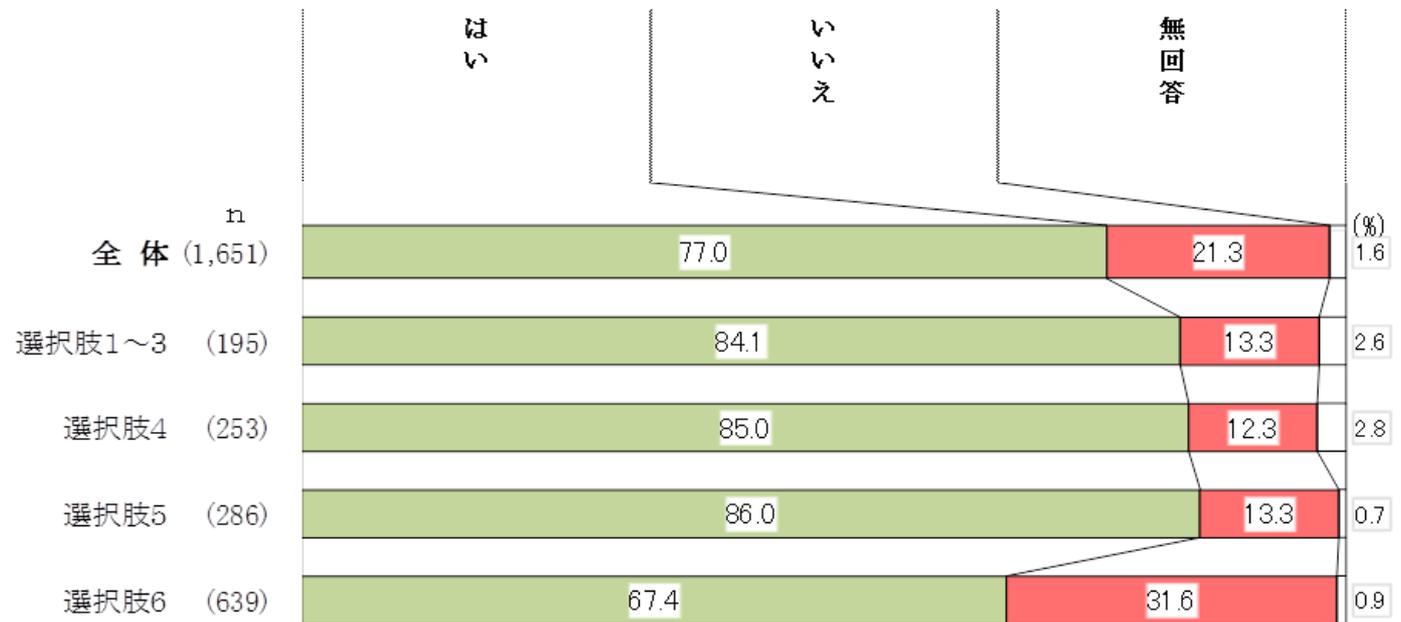
■保護者調査（単純集計）

	調査数	子どもや生活のことについての悩み事相談	民生委員・児童委員など、地域の人からの支援	病気や障がいなどの専門的な支援	急な用事（病気・事故等）があったときの一時的な子どもの預かり	学校に関することで先生以外の相談や支援	学習支援	地域における子どもの居場所	その他	無回答
全体	1,651人	436人	133人	395人	715人	481人	714人	712人	99人	106人
		26.4%	8.1%	23.9%	43.3%	29.1%	43.2%	43.1%	6.0%	6.4%
小学5年生	886人	224人	71人	200人	421人	236人	357人	437人	58人	48人
		25.3%	8.0%	22.6%	47.5%	26.6%	40.3%	49.3%	6.5%	5.4%
中学2年生	765人	212人	62人	195人	294人	245人	357人	275人	41人	58人
		27.7%	8.1%	25.5%	38.4%	32.0%	46.7%	35.9%	5.4%	7.6%

学年別で見ると、小学5年生では「地域における子どもの居場所」、中学2年生では「学習支援」が最も高い。

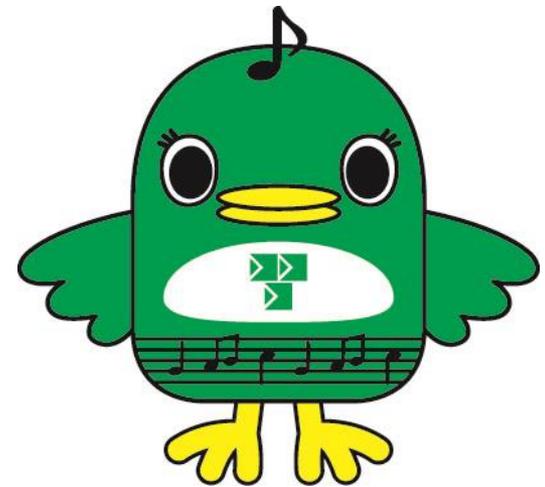
無料の学習支援の参加希望の有無

■保護者調査（所得区分別）



選択肢1～5で「はい」としたのは8割あり、
 選択肢6の約1.3倍の希望がある。

調査結果を受けて



今後の取り組み

平成30年度以降、調査・分析結果を踏まえ、一人ひとりの子どもが自分らしく社会の一員として自立できるための有効な支援・手立てを、全庁的な視点から検討を行います。

**全ての子ども達が夢と希望を持って
成長していける社会の実現を目指し、
子ども施策を推進していきます。**